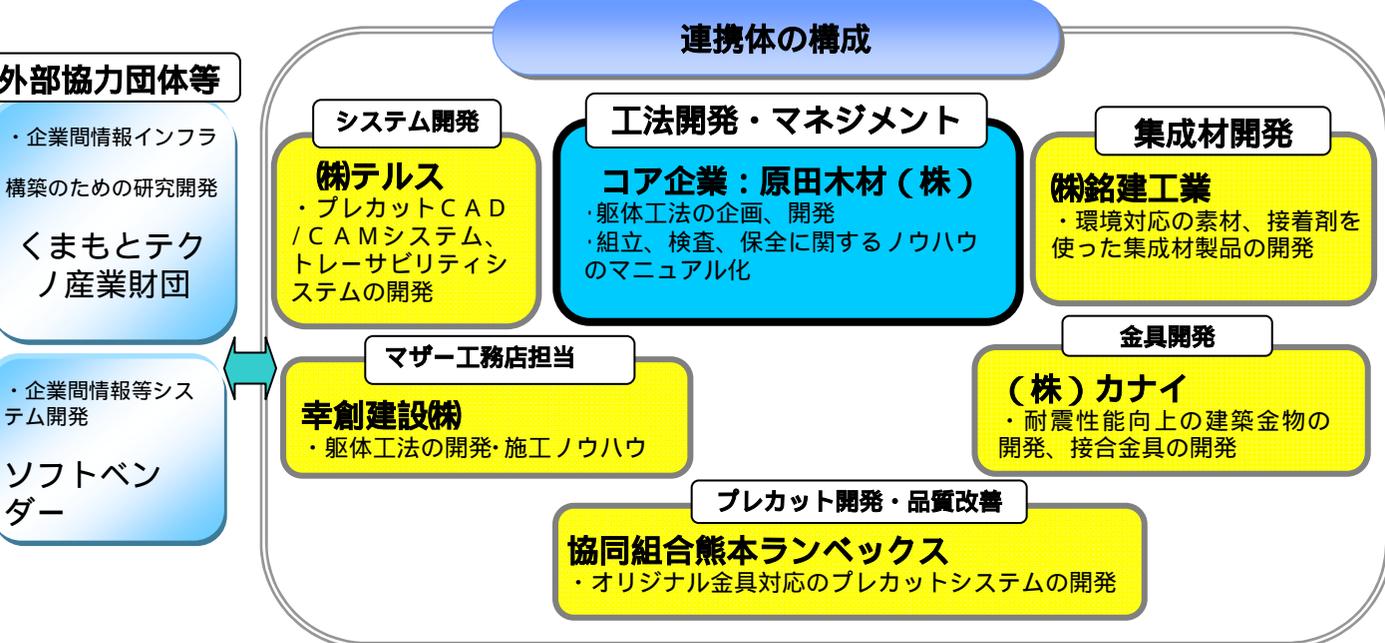


**テーマ名：躯体工法、トレーサビリティシステム等の構築による木造住宅流通ビジネスモデルの事業化
～エンドユーザーのニーズに対応した安定品質の木造住宅を提供する流通システムの実現を図る～**

事業計画の概要：

- ・従来の木造住宅では、乾燥が不十分な自然材の使用によって品質が安定しないなど、構造躯体の品質が住宅の強度や耐久性に大きく影響する場合がある。一方、地域の中小工務店等にとって、エンドユーザーのニーズに対応した商品の開発は難しく、大手ハウスメーカーに対抗が難しい構造となっている。
- ・本事業では、躯体組立、検査、保全マニュアル付きの木造住宅構造躯体工法（劣化軽減、維持・管理への配慮）とプレカットCAD/CAMシステム、流通コード管理システム（トレーサビリティ対応）等の組合せにより、長期保証のある品質及び住宅プラン、増改築の自由性を併せて実現する木造住宅流通システムを事業化する。
- ・木造住宅の最も重要な躯体部分のトレーサビリティを確立することによって、施主、工務店にとって、リフォームやメンテナンスに的確に対応するアフターフォローを可能とし、安心、安全、快適な住宅を提供するとともに、地域の中小工務店等の再生と、多様な住宅ニーズに対する自立的なサービス提供の実現を図り、エンドユーザーのニーズに対応する木造住宅流通ビジネスモデルの事業化を実現する。

コア企業：原田木材(株)（熊本県熊本市：木材・竹材卸売業）
 連携企業等：銘建工業(株)（岡山県真庭市）、(株)カナイ（東京都足立区）、(協)熊本ランベックス（熊本県熊本市）、幸創建設(株)（高知県高知市）、(株)テルス（熊本県熊本市）



連携の特徴

- ・安定品質の構造躯体工法を有するコア企業と、環境対応、耐震性を向上させる、プレカットCAD/CAMシステム及び流通コード管理システムの開発ノウハウを有する企業等との連携による新たな木造住宅流通システムを構築。

新事業

長期保証のある安定した品質及び住宅プラン、増改築の自由性をあわせて実現する木造住宅供給体制を確立。
 リフォームやメンテナンスが確実にできるトレーサビリティシステムと責任体制を確立。

市場性

- ・九州を中心に商談が進行中。
- ・全国各地の契約ビルダー・中小工務店を中心に、新築住宅購入者、将来的な増・改築、リフォーム需要者
- ・5年後までには20億円の売上を見込む。

支援予定メニュー

政府系金融機関低利融資（商工中金・中小企業金融公庫） 事業化・市場化補助金